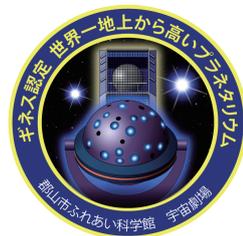


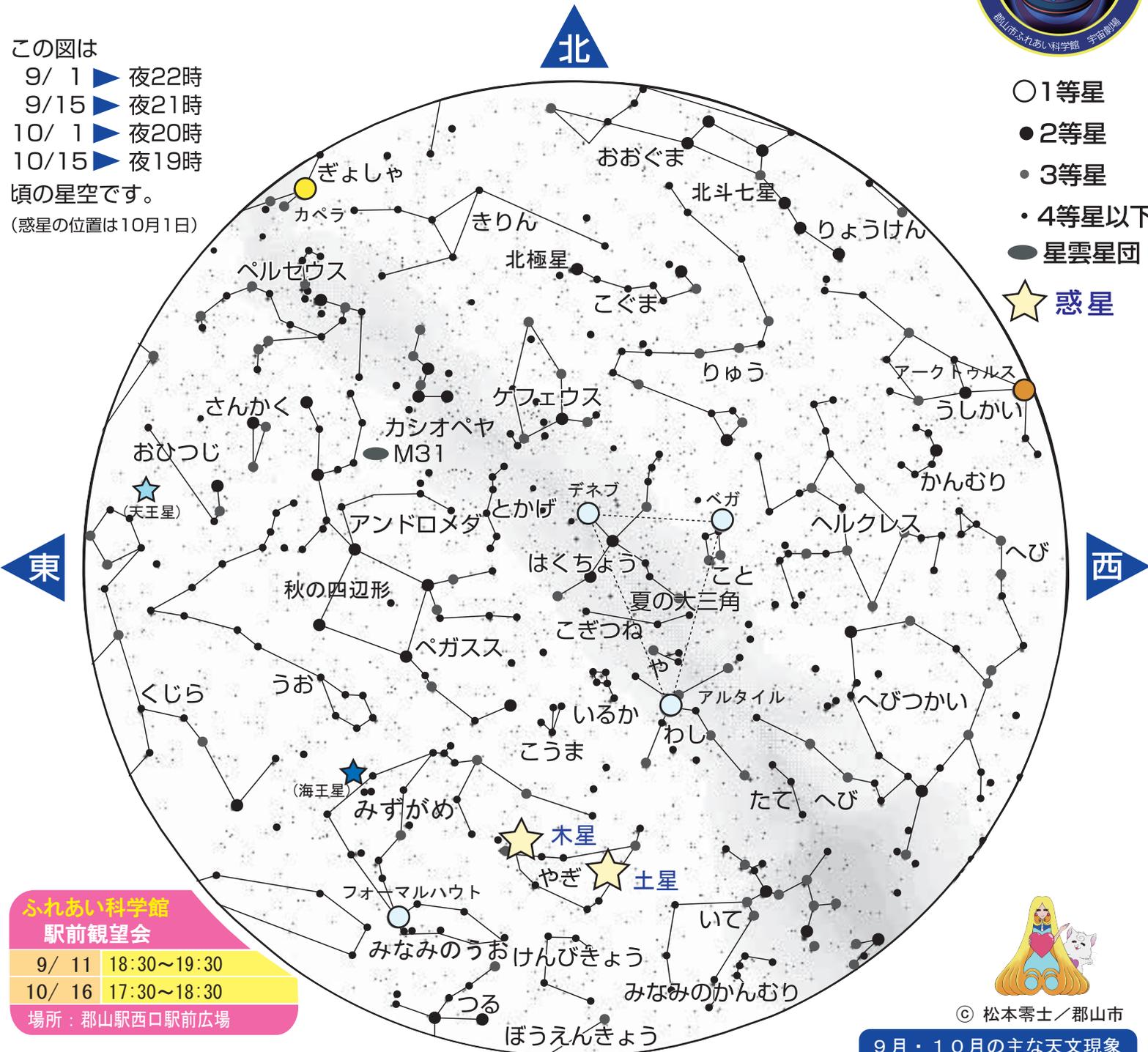
2021年

# 9月▶10月の星空



この図は  
 9/ 1 ▶ 夜22時  
 9/15 ▶ 夜21時  
 10/ 1 ▶ 夜20時  
 10/15 ▶ 夜19時  
 頃の星空です。  
 (惑星の位置は10月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★惑星



ふれあい科学館

駅前観望会

9/ 11 18:30~19:30

10/ 16 17:30~18:30

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

### 9月・10月の主な天文現象

9/21	中秋の名月
9/23	秋分の日
10/25	水星が西方最大離角
10/30	金星が東方最大離角

郡山の日の出・日の入		
9/ 1	5:08	18:08
9/15	5:20	17:47
10/ 1	5:33	17:23
10/15	5:46	17:02

月の満ち欠け		
新月	9/ 7, 10/ 6	
上弦	9/14, 10/13	
満月	9/21, 10/20	
下弦	9/29, 10/29	

※上弦、下弦は半月です。  
 ※天王星、海王星は肉眼では見えません。

これまで主役となっていた夏の星座から少しずつ秋の星座へとバトンが渡る時季となりました。秋の星座は明るい星が少ないため、もの静かな印象がありますが、南の空を見ると、そこに明るい星が2つあります。これは星座を形づくる星ではなく、惑星の「木星」と「土星」です。左の明るく見える方が木星、右が土星です。夏の夜更けに見えていたこの2つは、静かで落ち着いた秋の夜空でより目を引きまますので探してみてください。

9月21日は「中秋の名月」です。中秋の名月とは旧暦の8月15日の月のことを指し、古くから月をめぐる習慣があります。お月見では里芋をお供えすることから、中秋の名月を「芋名月」とも呼びます。そして日本では旧暦の9月13日にもお月見を楽しむ習慣があります。この日の月を「後(のち)の月」といい、今年は10月18日となります。このときは栗や枝豆をお供えするため、「栗名月」や「豆名月」と呼ばれます。このようにお月見ではその時期に収穫されるものをお供えし、実りに感謝する意味合いを持っています。また、月は特別な道具がなくても肉眼で楽しめる天体です。中秋の名月の月の出は18:04、後の月は16:08です。月の明るさを感じながらまわりの景色と合わせて眺めると、その場所とともに思い出となります。また、池など水に映る姿を楽しむのも趣があります。秋の虫の音に耳を傾け、目と耳で楽しむのも素敵です。みなさまそれぞれの楽しみ方で過ごしてみてください。

